

地域番号

厚生労働省保険局医療課委託事業「令和5年度医療機関の薬剤師における業務実態調査業務」

## 「薬剤師における業務実態調査」

### ご回答方法

- ・医療機関の薬剤部門責任者の方にご記入をお願い致します。(必要に応じて医師、看護師等を対象)
- ・本調査はインターネットでのアンケート回答となります。
- ・以下の WEB サイトにアクセスし、ご回答ください。



【QR コード】

<https://00m.in/aFpc9>

(ゼロゼロ)

- ・インターネットでの回答が困難な場合は、本紙にあてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・( )内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・( )内に数値を記入する設問で、該当無しは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和5年8月1日現在の状況についてお答えください。

### ご回答期限・返送方法

**令和5年10月6日(金) までにご回答をお願いいたします。**

\* 本紙にご記入いただいた場合は同送いたしました封筒により、事務局までご返送ください(切手不要)。

### 本調査に係るお問い合わせ先

「令和5年度医療機関の薬剤師における業務実態調査業務」事務局

株式会社エヌアイエスプラス (担当:木部・平野・和泉)

TEL:03-5689-8026 (10:00~17:00、土日・祝日除く)

E-Mail: [pubs@nisp.co.jp](mailto:pubs@nisp.co.jp)

【委託元】厚生労働省 保険局医療課

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

# ＜薬剤部責任者票＞

## ご回答方法

- 選択式の質問について

- ・ 「○は1つだけ」という質問には、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・ 「○はいくつでも可」という質問には、あてはまる番号を全て○で囲んでください。

- 記述式の質問について

- ・ ( ) 内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・ ( ) 内に数値を記入する質問で、該当無しは「0 (ゼロ)」、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・ 特に断りのない限り、**令和5年8月1日現在**の状況についてお答えください。
- ・ 業務の状況等を問う質問については、最近の約1か月間の状況を参考に回答ください。

貴施設の基本的な情報をご記入ください。

施設名	
電話番号	
住所	〒 _____ 都道府県 _____ 区 市 郡 _____

## ＜1：貴施設の概要についてお伺いします＞

問1 貴施設の開設者につき、組織分類として該当するものをお選びください。(○は1つだけ)

01	国	02	公立	03	公的	04	社会保険関係団体
05	医療法人 (社会医療法人は除く)	06	会社	07	その他の法人	08	個人

### ＜選択肢詳細＞

国： 国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構  
 公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人  
 公的：日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会  
 社会保険関係：健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合  
 医療法人：医療法人  
 会社：株式会社等  
 その他の法人：社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人

問2 貴施設の標榜診療科につき、以下から該当するものをお選びください。(○はいくつでも可)

01	内科系(※1)	02	皮膚科	03	小児科	04	精神科	05	外科系(※2)
06	泌尿器科	07	脳神経外科	08	整形外科	09	眼科	10	婦人科・産婦人科・産科
11	リハビリテーション科	12	放射線科	13	麻酔科	14	救急科	15	耳鼻咽喉科
16	歯科・歯科口腔外科	17	緩和ケア科	18	総合診療科	19	病理診断科	20	人工透析
21	臨床	22	その他( )						

※1 内科系には次の診療科などが含まれます。

[内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科、脳神経内科、腫瘍内科、新生児内科等]

※2 外科系には次の診療科などが含まれます。

[外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科、形成外科等]

問3 貴施設のDPCへの対応状況として該当するものをお選びください。(○は1つだけ)					
01	DPC 対象病院	02	DPC 準備病院	03	DPC 対象病院・準備病院以外

問4 貴施設の病棟数と許可病床数の合計をご記入ください。	
( ) 病棟	( ) 床

問5 貴施設における以下の入院料の病棟数と許可病床数の合計をご記入ください。			
入院料		病棟数	病床数
01	A100 急性期一般入院料	( ) 病棟	( ) 床
02	A101 療養病棟入院料	( ) 病棟	( ) 床
03	A308 回復期リハビリテーション病棟入院料	( ) 病棟	( ) 床
04	A308-3 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料	( ) 病棟	( ) 床

問6 貴施設で算定している入院料をご回答ください。 ※前問で回答して頂いた入院料以外についてお伺いしています。					
01	地域一般入院料	02	結核病棟入院基本料	03	精神病棟入院基本料
04	特定機能病院入院基本料	05	専門病院入院基本料	06	障害者施設等入院基本料
07	有床診療所入院基本料	08	有床診療所療養病床入院基本料	09	救命救急入院料
10	特定集中治療室管理料	11	ハイケアユニット入院医療管理料	12	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
13	小児特定集中治療室管理料	14	新生児特定集中治療室管理料	15	母体・胎児集中治療室管理料
16	新生児集中治療室管理料	17	新生児治療回復室入院医療管理料	18	小児入院医療管理料
19	特殊疾患入院医療管理料	20	緩和ケア病棟入院料	21	その他

問7 貴施設の令和5年7月の1日当たりの入院患者数・外来患者数(1ヶ月間の平均値)をご記入ください。	
入院患者数	外来患者数
( ) 人/日	( ) 人/日

問8 貴施設における院外処方箋発行率(※)をご記入下さい。(小数点以下第1位まで記載してください。)	
※院外処方箋発行率(%) = 処方箋料の算定回数 / (処方料の算定回数 + 処方箋料の算定回数) * 100	
( . ) %	

問9 貴施設の職員数をご記入ください。(常勤、非常勤を含みます)		
医師	看護師	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
( ) 人	( ) 人	( ) 人

問10 貴施設の**薬剤師数**を常勤・非常勤・その他の採用形態の別にご回答ください。

※1 常勤換算については、以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第1位までお答えください。

- ・1週間に数回勤務の場合：非常勤またはその他の採用形態の1週間の勤務時間÷貴施設の定める常勤職員の1週間の勤務時間
- ・1か月に数回勤務の場合：非常勤またはその他の採用形態の1か月の勤務時間÷（貴施設の定める常勤職員の1週間の勤務時間×4）

※2 その他の採用形態とは、他施設からの出向、および紹介予定派遣や産前産後休業や育児休業等を取得した労働者の業務である場合の労働者派遣事業等が含まれます。

※3 雇用を予定しているが、雇用できていない人数をお答えください。

薬剤師数	(1) 常勤	(2) 非常勤		(3) その他の採用形態 (※2)	
		実人数	常勤換算人数(※1)	実人数	常勤換算人数(※1)
R5.8.1	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
R4.8.1	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人

薬剤師数	(4) 貴施設に在籍するが 休職中（産休・育休等）の 薬剤師数	(5) 欠員数(※3)
R5.8.1	( ) 人	( ) 人
R4.8.1	( ) 人	( ) 人

問11 貴施設の**薬剤部門における薬剤師以外の職員数**を常勤、非常勤別にご回答ください。

薬剤師以外の職員数		常勤	非常勤	
			実人数	常勤換算人数
01	01.主に事務作業に従事する者	( ) 人	( ) 人	( ) 人
02	02.主に調剤補助に従事する者	( ) 人	( ) 人	( ) 人
03	03.その他(具体的に： )	( ) 人	( ) 人	( ) 人

問 12 貴施設の**薬剤部門における薬剤師の夜間の勤務体制**についてご回答ください。(○は1つだけ)

01	交代制勤務
02	当直制
03	オンコール対応
04	夜間の勤務は実施していない
05	その他(具体的に： )

問 13 貴施設の**薬剤部門における薬剤師の休日の勤務体制**についてご回答ください。(○は1つだけ)

01	交代制勤務
02	日直制
03	オンコール対応
04	休日の勤務は実施していない
05	その他(具体的に： )

問14 貴施設の常勤薬剤師の任意の1週間の時間外勤務についてご回答ください。（※少数第一位まで）		
全ての薬剤師の平均値	最も多い薬剤師の小計	最も少ない薬剤師の小計
( ) 時間/週	( ) 時間/週	( ) 時間/週

問15 貴施設の薬剤部門における業務量の配分について、割合をご回答ください。 ※合計が10割になるように回答下さい。※1週間の業務を想定してご回答ください。 ※このアンケートでは、「病棟業務」は薬剤師が病棟で持参薬確認、服薬指導等を実施することとし、 栄養サポートチームや感染制御チーム、院内感染対策委員会など横断的な医療チームでの診療への 関わりについては、「チーム医療」として回答ください。			
中央業務（調剤・注射剤等）	病棟業務	チーム医療（主に診療関係）	その他業務
( ) 割	( ) 割	( ) 割	( ) 割

問16 貴施設で用いている病院情報システムについてご回答ください。（○は1つだけ）	
01	電子カルテ
02	オーダーリングシステムと紙カルテ
03	紙カルテ（システム未導入）
04	その他（具体的に： )

問17 貴施設の救急医療体制についてご回答ください。（○は1つだけ）	
01	3次救急（救命救急医療）
02	2次救急（入院を要する救急医療）
03	1次救急（初期救急医療）
04	救急医療体制はない

<問17で01から03（救急医療体制がある）と回答した施設の場合、ご回答ください>

問18 救急室（初治療室）等で薬剤師は業務を行っていますか。（○は1つだけ）			
01	常駐している	02	オンコールで現場対応
03	オンコールで電話対応	04	実施していない

## 〈2：貴施設における病棟での薬剤師業務について〉

問 19 病棟薬剤業務実施加算 1 の届出を行っていますか。(○は 1 つだけ)					
01	届出を行っている →問 20 へ	02	届出を行っていない →問 22 へ	03	対象病棟がない →問 24 へ

〈問 19 で「01 病棟薬剤業務実施加算 1 の届出を行っている」と回答した方にお伺いします〉

問 20 病棟薬剤業務実施加算 1 を継続する上で負担に感じる事についてご回答ください。(○はいくつでも可) ※薬剤師の人数が不足している事についても、より具体的な理由としてお伺いさせていただきます。	
01	薬剤管理指導料に係る業務の実施
02	週 20 時間の業務を必要としない病棟があり、効率的な人員配置ができないこと
03	1 病棟当たりの患者数が少ない病棟があり、効率的な人員配置ができないこと
04	入院基本料を算定する患者と特定入院料を算定する患者が混在している病棟があり、効率的な人員配置ができないこと
05	療養病棟入院基本料等、8 週を限度として算定できる病棟があり、効率的な人員配置ができないこと
06	病棟薬剤業務実施加算による収入より必要な人数の薬剤師を雇用する支出が多いこと
07	医薬品情報の収集及び必要に応じた速やかな医療従事者への周知の体制をとること
08	病棟薬剤業務日誌の作成管理
09	薬物療法に直接関わる業務について、実施内容を診療録等への記録
10	病棟薬剤業務実施加算を別途算定できない病棟又は治療室においても病棟薬剤業務を実施するよう努めること
11	病棟薬剤業務を実施するためのノウハウや薬学的知識の不足
12	その他 ( )
13	特に負担はない
問 21	前問 01 から 13 のうち、最もあてはまるものをご回答ください。 (数字をひとつ) ( )

〈問 19 で「02 病棟薬剤業務実施加算 1 の届出を行っていない」と回答した方にお伺いします〉

問 22 病棟薬剤業務実施加算 1 を算定していない理由についてご回答ください。(○はいくつでも可) ※薬剤師の人数が不足している事についても、より具体的な理由としてお伺いさせていただきます。	
01	薬剤管理指導料に係る業務の実施が難しい
02	週 20 時間の業務を必要としない病棟があり、効率的な人員配置ができないため
03	1 病棟当たりの患者数が少ない病棟があり、効率的な人員配置ができないため
04	入院基本料を算定する患者と特定入院料を算定する患者が混在している病棟があり、効率的な人員配置ができないため
05	療養病棟入院基本料等、8 週を限度として算定できる病棟があり、効率的な人員配置ができないため
06	病棟薬剤業務実施加算による収入より必要な人数の薬剤師を雇用する支出が多いため
07	医薬品情報の収集及び必要に応じた速やかな医療従事者への周知の体制をとることが難しい
08	病棟薬剤業務日誌の作成管理が難しい
09	薬物療法に直接関わる業務について、実施内容を診療録等に記録することが難しい
10	病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟又は治療室においても病棟薬剤業務を実施するよう努めることが難しい
11	病棟薬剤業務を実施するためのノウハウや薬学的知識の不足
12	その他 ( )
問 23	前問 01 から 12 のうち、最もあてはまるものをご回答ください。 (数字をひとつ) ( )

<以下は、すべてのご施設がご回答ください>

問 24 貴施設では、 <b>薬剤総合評価調整加算※</b> を算定していますか。(○は1つだけ) ※多種類の服薬を行っている入院患者の処方総合的な評価及び変更の取組を評価したもの。 ポリファーマシー対策の評価。			
01	算定あり →問 26 へ	02	算定なし →問 25 へ

<問 24 で「02 算定なし」とご回答した方にお伺いします>

問 25 薬剤総合評価調整加算を算定していない理由をご回答ください。(○はいくつでも可)

01	関連ガイドライン等を踏まえ、特に慎重な投与を要する薬剤等の確認を行うことが困難だから
02	医師、薬剤師及び看護師等の多職種によるカンファレンスを実施することが困難だから
03	他の業務負担が大きいため
04	ニーズが少ないため
05	処方医が他院の医師であり、処方理由が不明等のことが多いため
06	その他 ( )

<以下は、すべてのご施設がご回答ください>

問 26 退院時に薬剤に関する薬剤師の情報提供の方法についてご回答ください。(○はいくつでも可)	
01	お薬手帳
02	文書による情報提供 (薬剤管理サマリー (日本病院薬剤師会))
03	文書による情報提供 (上記以外の書式)
04	薬剤情報提供文書・薬のしおり
05	実施していない
06	その他 ( )

問 27 貴施設では、 <b>退院時薬剤情報連携加算※</b> を算定していますか。(○は1つだけ) ※入院前の内服薬を変更又は中止した患者について、薬局に対して文書により当該患者の状況を 情報提供した場合の評価。薬剤管理サマリー等を用いた退院時情報連携の評価。			
01	算定あり →問 29 へ	02	算定なし →問 28 へ

<問 27 で「02 算定なし」とご回答した方にお伺いします>

問 28 退院時薬剤情報連携加算を算定していない理由をご回答ください。(○はいくつでも可)

01	患者又はその家族等が保険薬局に情報提供することの同意が得られなかったため
02	情報提供先の薬局がわからなかったため
03	情報提供文書は医療機関宛に出すことが多いため
04	他の業務負担が大きいため
05	情報提供文書の作成にかかる労力が大きいため
06	ニーズが少ないため
07	その他 ( )

※以下、同じ質問を「急性期一般病棟」と「回復期リハビリテーション病棟」に分けてお聞きします。

このアンケートでは、急性期一般病棟は急性期一般入院基本料を算定する病棟、回復期リハビリテーション病棟は回復期リハビリテーション入院料を算定する病棟とします。

最初に急性期一般病棟における業務についてお伺いします。

<すべてのご施設がご回答ください>

問 29 急性期一般病棟において薬剤師が業務を実施していますか。(〇は1つだけ)					
01	実施している →問 30 へ	02	病棟はあるが実施していない →問 36 へ	03	該当する病棟がない →問 37 へ

<問 29 で「01 実施している」とご回答した方にお伺いします>

問 30 急性期一般病棟における薬剤師の業務時間をご回答ください。 (1病棟当たり1週間当たりの合計時間の平均値※)(〇は1つだけ) ※病棟に複数の薬剤師が勤務した場合は、その延べ時間数をご回答ください。					
01	0時間(未実施)	02	約1-5時間	03	約6-10時間
04	約11-15時間	05	約16-20時間	06	20時間以上

問 31 急性期一般病棟における病棟業務の業務内容と実施する患者の割合について回答ください。 (それぞれの項目で、〇は1つだけ) ※項目については、病棟薬剤業務実施加算など診療報酬上の要件とは関係なくお伺いしています。					
01	入院患者に対する薬剤の効果・副作用等に関する状態把握	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
02	持参薬の確認	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
03	入院中の服薬指導	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
04	処方確認及び処方提案	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
05	退院時服薬指導	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
06	退院時の処方内容に関する情報提供文書の交付	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
07	内服薬の配薬カート等へのセット	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
08	持参薬等の再分包等	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施

問 32 急性期一般病棟において、処方提案や情報提供に関する業務について、実施しているものをご回答ください。(〇はいくつでも可)	
01	入院治療のため休薬が必要な薬剤について、 <b>休薬</b> に関する処方提案や情報提供
02	入院治療のため休薬している薬剤について、 <b>再開</b> に関する処方提案や情報提供
03	入院治療に伴って開始された鎮痛薬や鎮静薬等の減量中止の処方提案や情報提供
04	ポリファーマシー対策のための処方提案や情報提供
05	リハビリテーションへ影響を与える薬剤について、減量中止の処方提案や情報提供
06	嚥下機能を踏まえた剤形選択をふまえた処方提案や情報提供
07	退院後の生活環境等を考慮した薬物治療内容の見直しや処方提案や情報提供





次に回復期リハビリテーション病棟における業務についてお伺いします。

<すべてのご施設がご回答ください>

問 37 回復期リハビリテーション病棟において、薬剤師が業務を実施していますか。(○は1つだけ)					
01	実施している →問 38 へ	02	病棟はあるが実施していない →問 44 へ	03	該当する病棟がない →問 45 へ

<問 37で「01 実施している」とご回答した方にお伺いします>

問 38 回復期リハビリテーション病棟における薬剤師の業務時間をご回答ください。 (1 病棟当たり 1 週間当たりの合計時間の平均値)(○は1つだけ) ※1 病棟に複数の薬剤師が勤務した場合は、その延べ時間数をご回答ください。					
01	0時間(未実施)	02	約1-5時間	03	約6-10時間
04	約11-15時間	05	約16-20時間	06	20時間以上

問 39 回復期リハビリテーション病棟における病棟業務の業務内容と実施する患者の割合について回答ください。 (それぞれの項目で、○は1つだけ) ※項目については、病棟薬剤業務実施加算など診療報酬上の要件とは関係なくお伺いしています。					
01	入院患者に対する薬剤の効果・副作用等に関する状態把握	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
02	持参薬の確認	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
03	入院中の服薬指導	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
04	処方確認及び処方提案	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
05	退院時服薬指導	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
06	退院時の処方内容に関する情報提供文書の交付	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
07	内服薬の配薬カート等へのセット	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施
08	持参薬等の再分包等	原則全患者	半数以上	半数以下	未実施

問 40 回復期リハビリテーション病棟における、処方提案や情報提供に関する業務について、実施しているものをご回答ください。(○はいくつでも可)	
01	入院治療のため休薬が必要な薬剤について、 <b>休薬</b> に関する処方提案や情報提供
02	入院治療のため休薬している薬剤について、 <b>再開</b> に関する処方提案や情報提供
03	入院治療に伴って開始された鎮痛薬や鎮静薬等の減量中止の処方提案や情報提供
04	ポリファーマシー対策のための処方提案や情報提供
05	リハビリテーションへ影響を与える薬剤について、減量中止の処方提案や情報提供
06	嚥下機能を踏まえた剤形選択をふまえた処方提案や情報提供
07	退院後の生活環境等を考慮した薬物治療内容の見直しや処方提案や情報提供

問 41	<b>回復期リハビリテーション病棟における、情報連携に関する業務について、実施しているものをご回答ください。（〇はいくつでも可）</b>		
01	入院時、医師（紹介元の病院、前医等）からの薬剤に関する情報の活用		
02	入院時、薬剤師（紹介元の病院、薬局を含む）からの薬剤に関する情報の活用		
03	持参薬に関して、病棟スタッフへの情報共有		
04	薬物治療のリハビリテーションへの影響について、医師との情報共有		
05	薬物治療のリハビリテーションへの影響について、看護師との情報共有		
06	薬物治療のリハビリテーションへの影響について、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等との情報共有		
07	薬物治療のリハビリテーションへの影響について、栄養士との情報共有		
08	退院時、医師（転院先、前医等）へ薬剤に関する情報の提供		
09	退院時、薬剤師（転院先、薬局等）へ薬剤に関する情報の提供		
10	退院時、地域の医療スタッフへ薬物に関する情報の提供		

問 42	<b>回復期リハビリテーション病棟において、薬剤管理指導料に相当する業務を実施していますか。（〇は1つだけ）</b>		
01	実施している →問 45 へ	02	実施していない →問 43 へ

＜問 42 で「02 実施していない」とご回答した方にお伺いします＞

問 43	<b>回復期リハビリテーション病棟において、薬剤管理指導料に相当する業務を実施していない理由について、あてはまるものをご回答ください。（〇はいくつでも可）</b>		
01	他業務が忙しいため		
02	医薬品情報の収集及び伝達を行うことが難しいため		
03	医師の同意が得られないため		
04	対象となる患者がいないため		
05	薬剤師管理指導料に係る記録を作成するのが難しいため		
06	薬剤管理指導料を別途算定することができないため		
07	その他（		）

＜→問 45 へ＞

＜問 37 で「02 病棟はあるが実施していない」とご回答した方にお伺いします＞

問 44	<b>回復期リハビリテーション病棟において薬剤師が業務を実施していない理由をご回答ください。（それぞれの項目で、〇は1つだけ）</b>		
01	薬剤師が不足している	はい	いいえ
02	医師から要望がない	はい	いいえ
03	病棟から要望がない	はい	いいえ
04	病院から要望がない（病院の方針）	はい	いいえ
05	診療報酬上の評価が十分でない	はい	いいえ
06	病棟で業務を行う必要性を感じない	はい	いいえ

### 〈3：貴施設における薬剤師の採用や働き方について〉

問 45	<b>急性期一般病棟</b> では病棟薬剤業務実施加算や薬剤管理指導料などを算定することができます。これらの病棟で病棟業務を実施するための薬剤師を雇用してもらえますか。(○は1つだけ)	
01	病棟薬剤業務実施加算及び薬剤管理指導料を実施するための薬剤師を雇用してもらえる	
02	薬剤管理指導料を実施するのに最低限の薬剤師を雇用している	
03	診療報酬とは関係なく、必要な薬剤師を雇用している	
04	急性期一般病棟はない	
05	その他 ( )	

問 46	<b>回復期リハビリテーション病棟</b> では病棟薬剤業務実施加算や薬剤管理指導料は入院料に包括評価されており、別途算定することができません。これらの病棟で病棟業務を実施するための薬剤師を雇用してもらえますか。(○は1つだけ)	
01	考慮して雇用してもらえる	
02	考慮されない	
03	診療報酬とは関係なく、必要な薬剤師を雇用している	
04	回復期リハビリテーション病棟はない	
05	その他 ( )	

問 47	貴施設の薬剤部門における業務負担軽減策についてご回答ください。(○はいくつでも可)	
01	調剤業務の機械化	
02	電子カルテ、調剤支援システム、オーダリングシステムの導入や改良	
03	外部委託業者による医薬品の物流管理支援 (SPD) の導入	
04	薬剤師以外の者による調剤補助	
05	薬剤師以外の者による事務作業補助	
06	服薬指導記録等の簡素化や見直し	
07	AI を活用した医薬品情報に関する支援システムの導入	
08	その他 ( )	

問 48	貴施設の薬剤部門の運営方針について最もあてはまるものをご回答ください。(○は1つだけ)	
01	積極的な業務拡大を検討している	
02	現状維持が良いと考えている	
03	薬剤師の働き方を優先するなど、業務量の整理縮小を検討している	
04	その他 ( )	

問 49	貴施設において薬剤師の増員を検討していますか。(○は1つだけ)	
01	増員を検討している	
02	増員予定はない	
03	人員の削減を検討している	
04	その他 ( )	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。